

原水爆禁止世界大会リアル開催

コロナ禍のなか3年ぶりに8月4日から6日まで原水爆禁止世界大会・広島(ZOOM併用)が開催されました。

広島大会は広島県立総合体育館グリーンアリーナを主会場にして全国から1500名(大阪からは120名)の参加で左記の日程で開かれ、大阪平和委員会から中村玉枝副会長(西淀川)、岩本悟副理事長(関西共同印刷所)、上羽治雄事務局長など多数の会員が参加しました。

◇8月4日
開会総会 13時～14時
国際会議 14時～16時30分

◇8月5日
国際会議 10時～12時30分
テーマ別集会、碑・遺跡めぐり 14時～16時30分

◇8月6日 10時30分～13時
開会総会では野口邦和さん(世界大会実行委員会運営委員会共同代表)が主催者を代表して以下のように報告しました。

「3年ぶりに被爆地の広島と長崎での開催を喜びたい。大会には核兵器禁止条約推進の先頭に立つオーストリア、メキシコ、マレーシアの政府代表が参加。



6日朝中学生が平和祈念公園で被爆者佐々木サダ子さんの短い生涯を紙芝居上演

朝鮮半島の非核化・平和体制の構築に尽力する韓国はじめアジア/太平洋の平和運動の代表も参加する。苦しく困難な状況の中で侵略者とたたかっているウクライナの平和運動家も参加する。国内からは被爆者をはじめ広島と長崎の両市長、軍事費2倍化・9条改憲に反対する人々が参加している。被爆者の平均年齢は84・53歳を上回り、その数は初めて12万人を下回りました。「生きていくうちに核兵器をなくしてほしい」との被爆者の訴えを真摯に受け止め、被爆の実相を国内外に発信し、核兵器禁止条約に署名・批准する日本政府の実現に向けた世論と運動をさらに発展させよう。

中村副会長の参加記

「広島に千羽鶴を45束、つまり45000羽届けてきました。青年中心のツアーで、会員が一人増えました。分科会Ⅲの会場で、ファブロスさん、ルドさん(ベルギー)にたまたまエレベーターで一緒して、私がフィリピンのサニョさんから長崎で買ったサインしてもらったTシャツを着ていたことで、「サニョだ」「私の団体名だ」と盛り上がりました。写真を撮られたのでサニョさんに見せてくれるよう、国際交流ができました。

平和委員会交流会

平和委員会交流会が8月5日

午後5時から午後6時45分まで生活けんこうプラザ5階大会議室で20名ほどの参加で開催されました。

この交流会には海外代表であるベルギーの「平和」グループのルド・ヂ・ブラバンデルさんが参加し、NATOの軍事同盟に反対する自転車パレード、「核共有」に反対する運動などベルギーでの平和運動について報告してくれました。

上羽事務局長が「大阪平和委員会は1800名の会員がいて、事務局・会議室を所持している。核兵器をなくし憲法9条を守るために毎月『6の日』『9の日』『19の日』に20人ほどで駅前でスタンディング行動をしている」と英語と日本語を交えて発言すると、ブラバンデルさんは「ベルギーでは毎月決まった日に宣伝行動を行うことはない。今後のベルギーで平和運動の参考になる」答えてくれました。



高校生被爆体験聞く

8月6日大阪平和委員会会議室で午後1時30分から2時間にかけて高校生3人が長崎で生後2カ月で被爆した今井セイ子さんの被爆体験を聞き取りました。



今井さんは被爆体験を語った後、高校生から「生きてきてよかったことは？」と問われ、「皆さんにここでお話できたこと」と答えました。高校生から寄せられた感想文を紹介します。

「実際に被爆者の方と貴重なお話ができたことで、自分が行動しないといけないということに本当に実感しました。最後に今井さんが「戦争をするようになってしまったら必ず止めて欲しい」と私たちにおっしゃってくださったことを心に刻んで戦争が許される世の中にならないようにしていきたいと思いました。

「平和の波」行動実施

8月1日(8/26)ニューヨークの国連本部で第10回核不拡散条約(NPT)再検討会議が開催されるのに呼応して、大阪原水協は南森町交差点で宣伝行動を実施しました。この行動には大阪平和委員会から上羽事務局長、吉田事務局次長が参加。上羽事務局長は、マイクで次のように訴えました。
「5月3日掲載の朝日新聞の世論調査では『憲法を変えない方

玉城デニー知事の再選を!

沖縄県知事選勝利に向けカンパのお願い

8月25日告示、9月11日投開票の沖縄県知事選勝利は、辺野古新基地建設・南西諸島の軍事化を許さず、「基地のない平和な沖縄」への展望を拓き、憲法と平和を守る全国の市民と野党の共闘を励ます、重要な選挙です。大阪からも現地支援者の派遣、電話作戦など実施します。そのためのカンパを皆さんにお願いする次第です。



がよい』が59%、『安全保障で重要なのは非軍事』が73%、『専守防衛方針は維持』が68%、そして『非核三原則は維持』が77%と平和を求める世論が脈々と続いています。」「8月4日～8月9日まで被爆地広島と長崎で開催される原水爆禁止2022年世界大会を起点に地球を回る世界の草の根の共同行動『平和の波』が呼びかけられています。核兵器をなくすため『平和の波』を世界中に広げましょう」この行動には15人が参加し、「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」が9筆寄せられました。



ウクライナ侵略抗議

大阪平和委員会は、7月28日午前11時から30分にわたり豊中市内にあるロシア総領事館前でロシアによるウクライナ侵略に抗議するスタンディングを5人の参加で実施しました。

大阪平和委員会の上羽事務局長はスタンディングを始める前に参加者に対し次のようにロシアのウクライナ侵略の現状を報告しました。

「ウクライナ侵略から5カ月余ウクライナでは4千人を超える市民が殺害され、5千人を超える市民が傷ついた。ウクライナから国境を越えて逃げ出した人々の数は約7百万人であり、難民の数は約470万人である」

「ウクライナとロシアからの小麦の供給が途絶え、アフリカの途上国は飢饉の危険性があるとされている」

「こうした筆舌に尽くしがたい災厄をもたらしたウクライナ侵略はただちに止めなければならぬ」

スタンディングの途中、参加者はウクライナ侵略で亡くなった人々に対し1分間の黙祷を行いました。



天王寺戦争展盛況

7月30日(土)午前10時分から午後6時30分まで区内の会館で11回目の天王寺区平和のための戦争展を開催。来場者の制限措置をとりながら、47名参加で実施することができました。

天王寺平和委員会会長の大江憲夫さんは「ロシアのウクライナ侵略、参議院選挙で改憲派が3分の2以上、その上に維新からは核共有論が出され、今、

平和の最大の危機。選挙のさなか安倍元総理が銃撃死し、統一教会の恐ろしい闇が出るわ、出るわ、日本の政治が腐りきっている。そんな時期に戦争展を開催することは特別な意味を持っている。いろんな意見をだしあい、討論しましょう」と挨拶しました。



堺平和のための戦争展

7月30日、31日堺平和のための戦争展が実施されました。30日四國五郎さんの長男の光さんのお話が良かったです。

コロナで、学童の子どもたちの一輪車やけん玉がないのが残念でした。堺平和委員会も「ウク

ライナ戦争と私たち」の展示をしました。展示を見に来てくれた人に平和新聞一部拡大しました。31日暁光高校平和ゼミナールの生徒たちが平和活動についてレポートしてくれました。(亀井明子・堺平和委員会副会長のレポートより)



戦争あかん！スタンディング

7月24日正午から45分間にわたり近鉄上本町駅前で天王寺平和委員会、新婦人天王寺支部など4団体の共催で「戦争あかん！今すぐ中止を」と呼びかけるスタンディングが16人の参加で行われました。

西来孝さんと山崎健逸さんのふたりがマイクを通して「ロシアが2月24日ウクライナを攻撃しはじめてからちようど5カ月！今もウクライナの各地で住宅地や工業地帯、美術館や学校などがロシア軍によって攻撃され



多くの死者が出ています。ウクライナ国民の4分の1が国内あるいは国外避難民となり、ウクライナは民族の存亡の危機に陥っています。さらにプーチン大統領は、核兵器を使用する可能性を示唆し、世界に衝撃を与えました。ロシアのウクライナ侵略、核兵器威嚇を止めさせよう」と道行く人々に語りかけました。

田辺模擬原爆追悼式

東住吉区田辺への模擬原爆の投下から77年目：今年も7月26日区内の恩楽寺で「田辺模擬原爆追悼式」が行われました。

近隣の小中学生が「模擬原爆の恐ろしさ」と平和の大切さについて発言し、模擬原爆の語り部・龍野繁子さん(97歳)の話も参加者を感動させました。東住吉平和委員会の長谷川孝子新会長が挨拶しました。

―会として参加する3回目の夏です。77年前のきょう、この地で9時26分模擬原爆が投下されました。そして、広島・長崎への原子爆弾投下に繋がりが、310万人もの尊い生命が失われた戦争の歴史を語り続ける事は私達の使命です。2月ウクライナに侵攻したロシアのプーチン大統領は核兵器を使用する可能性を示唆し、衝撃を与えました。世界は核兵器の存在に脅かされています。

6月21、23日ウイーンでの核兵器禁止条約の第1回締約国会議が出した「ウイーン宣言」



長谷川会長

は「核抑止論」を批判し、否定しました。核で核が抑止できないという「核抑止論」は成り立たない。危険なものだという発言が広がりました。「核兵器のない世界」にむけて希望ある力強いメッセージとなりました。唯一の被爆国・日本の不参加は残念です。私たちは核兵器廃絶に向けてロシア総領事館前抗議行動に参加すると共に高校生と平和について街頭で対話しました。模擬原爆が投下された東住吉は「平和の礎」とならなければなりません。私たちは微力ではありますが平和の歩みを前進させていきます。

【9月の行事案内】

- 3日(土) 大阪労連定期大会
- 6日(火) 原水協6・9行動 12:00 上本町交差点
- 7日(水) 第2回常任理事会 18:00~
- 11日(日) 沖縄県知事選投開票
- 15日(木) 沖縄連帯行動 12:00 上本町交差点
- 17日(土) 日本平和委員会常任理事会 10:00~
- 19日(月) 「国葬反対」総がかり集会 14:00~
PLP 会館
- 24日(土) 日本平和委員会理事会 10:00~